



市立岸和田市民病院だより

うらら

第9号
平成30年9月

【発行】
市立岸和田市民病院
広報委員会

特集

病院を支える 様々な職種

- ・総合案内
- ・物品管理室
- ・院内学級



最高の笑顔（水間でのよさこい祭りにて）

当院は泉州地域唯一の国指定「地域がん診療連携拠点病院」です

【目次】

- P.2…様々な職種特集(総合案内)
- P.3…様々な職種特集(物品管理室)
- P.4…様々な職種特集(院内学級)
- P.5…医療技術局Pick Up～中央放射線部～
- P.6…看護専門外来の話～外来化学療法センター～
緩和ケア研修会の催し
- P.7…がん相談支援センター、ミニレシピ
- P.8…500人目の赤ちゃん誕生、
選定療養費改定のお知らせ
写真館(七タロビーコンサート、ふれあい体験)

～基本理念～

- ・市民の皆さんのが安心して心のこもった良質な医療を受けられる病院をめざします。
- ・患者さん一人ひとりの権利と安全を確保し、絶えず向上心をもって皆さんに信頼されるよう努めます。

～基本方針～

- ・市民の皆さんのが安心して良質な医療を受けられるように高度・専門医療と救急医療を充実する。
- ・患者さんが医療の中心であることを忘れず、個人の知る権利と決定する権利を尊重する。
- ・患者さんと職員の安全を確保する。
- ・地域の中核病院として地域医療連携を推進する。
- ・職員の教育・研修を充実し、絶えず向上心を持って努力する。

安全

患者

安心

信頼

温かい心をもって、
良質で高度な
医療を提供します。

広報誌
うらら

泉州地方では、わたし達・おれ達という意味で、「うらら」や「おらら」が使われていました。いつまでも、わたし達・おれ達に愛される市民病院でありたいとの願いをこめて、「うらら」と名付けました。



市立岸和田市民病院
ロゴマーク

このマークは岸和田市の頭文字「K」と「若葉」をモチーフに大空に飛び立つ鳥をイメージしています。「若葉」には若々しさや、健康、信頼関係。そして質の高い医療を温かい心で市民のみなさまに提供する心を表現しています。また飛び立つ「鳥」には地域医療の中核病院として、地域とともに発展していく姿を表現しています。

【特集】病院を支える様々な職種

総合案内

普段の仕事内容

主な仕事は病院内案内業務・病棟面会案内業務・会計混雑時の案内・支払機の使用方法説明などを行っております。患者様がお尋ねになる事柄は病院内のことや医療事務の事だけにとどまらず交通機関のルートや近辺の施設など多岐にわたります。常に新しい情報に気をつけるようにしております。



仕事中のモチベーション・意識していること

接遇が出来て当たり前との部署ですが、患者様や来客の方への案内をわかりやすく的確に行う事を常に意識しております。皆様からの「ありがとう」の一言で疲れを忘れてしまいます。



仕事中やりがいを感じる時

案内業務だけでなく気分の悪い方や緊急を要する方が来院されたときは、スピーディな対応が求められます。スムーズに受付・診察までご案内できたときは「本当に良かった」と思います。

今までで一番印象に残っているエピソード

いつも、総合案内のメンバーに会う事を楽しみに来て下さる高齢の方がいらっしゃいます。

笑顔と一緒に、「今日も会えてうれしいわ。あなたの顔を見に来たのよ」とハイタッチして頂くと私たちもうれしくてたくさん元気をいただいています。



岸和田市の印象

とにかくパワフルな印象です。「だんじり」にかける情熱と地元愛は素晴らしいと思います。

市民の皆さんへひとこと

行き届かないこともございますが、是非お気軽にお声をおかけ下さい。今、私共で出来ますB E S T の方法で対応させて頂きます。

物品管理室（SPD業務）

普段の仕事内容

病院内で使用する物品の発注代行及び検品を行い、適正な在庫管理や診療部門への必要な物品の搬送、補充などを行います。

業務範囲と管理対象は幅広く、診療材料・薬品・試薬・備品・修理・事務日用品・院内印刷・ケースカート・薬剤補助・カテ室処置セット・救急カート管理などを担当制で業務配分をし、スタッフ1人1人が責任を持って業務に就いています。



仕事中のモチベーション・意識していること

医療従事者が安心して医療を提供できる環境を作ることが、患者様に間接的に医療を提供する従事者SPDの役割だと考えています。院内で使用する全ての物品が患者様の命に繋がっていると考え、業務に従事しています。

仕事中やりがいを感じる時

医療現場では医療資格を持たないSPDスタッフが、チームの一員として医療に貢献できる環境にやりがいを感じます。

事務局様とは毎日購入物品の伝票のやりとりや、様々な院内情報の交換を行い、医薬品・材料の購入価格見直しや購入金額の抑制など、病院経営の更なる向上のため、様々な視点からアプローチさせて頂き、成果が資料として提出できた時にやりがいを感じます。



今まで一番印象に残っているできごと

初めて手術室を担当させて頂いた時の手術現場の緊張感は今も忘れません。

岸和田市の印象

天守（建物）が存在するお城と、「だんじり」、またNHK朝の連ドラ「カーネーション」の舞台にもなりました。華やかな人情あふれる都市だと思います。



市民の皆さんへのひとこと

物品管理室では病院の裏方として、安心安全の医療を提供できる環境整備を行い、病院経営に寄与し、地域中核病院としてになう岸和田市民病院にこれからも貢献させて頂きたいと思います。



【特集】病院を支える様々な職種

院内学級

普段の仕事内容



院内学級では子どもさんの体調に配慮しながら国語、算数を中心とした学習を行います。個別指導ですから子どもさんのペースに合わせて、学習を進めることができます。そして『入院している時間が少しでも楽しく充実できるように・・・』ということも大切にしていますので、たくさんのミニ工作、将棋やオセロ、本、多様なボードゲーム等も用意しています。また、季節の移り変わりを感じ、喜んでもらえるように、毎月プレイルームの掲示物を作り、張り替えています。

仕事中のモチベーション・意識していること

短い期間の入院であっても、子どもたちは不安を抱えていることが多いです。一人ひとりの子どもたちにしっかりと寄り添い、そして励ましながら、退院後スムーズに学校生活を送ることができるよう願い日々の活動に取り組んでいます。

またベッドサイドで保護者の方と子どもさんに自己紹介をする時は、お互いに初対面ですので、やはりその時間には少し緊張感が漂います。お気に入りの『手品グッズ』や『びっくりミニ工作』を紹介しながら、少しでもリラックスしてもらえるようにしています。そして「院内学級に行ってみたい！」と思ってもらえるように心がけています。



仕事中やりがいを感じる時

子どもたちが、学習をしていく中で「わかった！」「できた！」と笑顔を見せてくれる時や、退院時に「先生、楽しかった！」と言ってもらえる時にやりがいを感じます。

今までで一番印象に残っているエピソード

退院時にお手紙をもらったり、退院後に改めて教室を訪れてもらったりとうれしい出来事もたくさんありますが、一番印象に残っている出来事は、退院時に「先生、ユニバに行かれへんかったけど、院内学級がおもしろかったからよかったわ！」と言ってもらえたことです。

岸和田市の印象

岸和田市は『明るく、温かく、そしてエネルギーに満ち溢れる魅力的な街』という印象が強いです。



市民の皆さんへひとこと

入院される子ども達が、少しでも充実した時間を過ごすことができるように『一期一会』の気持ちを大切に頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

医療技術局 PickUp ~中央放射線部~



現代医療において放射線診療は欠かせないものとなっております。

放射線などを専門で扱い、医師へ質の高い画像情報を提供する専門の仕事です。

中央放射線部は大きく分けると2つに分かれ診断部門・治療部門となります。

診断部門

○一般撮影検査

X線を利用して胸部や腹部、全身の骨などの写真撮影をはじめ、マンモグラフィ（乳房撮影）、骨塩定量測定（骨密度）などさまざまな検査です。

○CT検査

X線を利用して全身の断面写真を撮り、短時間で行う事ができる検査です。

○MRI検査

強力な磁石でできた筒の中に入り、磁気の力をを利用して身体の臓器や血管などを撮影する検査です。体内に金属などが埋め込まれている場合は医師へ相談して下さい。

○アイソトープ検査

放射線を出す医薬品を注射またはカプセルを飲んで、身体の中から出てくる放射線を集めて臓器の血流や機能（働き）の状態を映像にして行う検査です。

○PET検査

ブドウ糖に近い検査薬FDGを体内に注射し行う検査です。がん細胞は正常な細胞に比べて活動が活発なため、3～8倍のブドウ糖を取り込む特徴があり、その特徴を利用してブドウ糖を多く取り込んでいる細胞を探しがんを見つめます。

○X線TV検査

造影剤（バリウム）を使って、胃・大腸などを写す検査で、臓器の位置や形など向きを変え、最も見やすい角度、タイミングで撮影する検査です。

○血管造影検査

目的部位の血管に対しカテーテル（医療用に用いられる中空の柔らかい管）を入れ、撮影し診断・治療を行う検査です。

治療部門

○放射線治療

放射線治療科では腫瘍などに高エネルギーの放射線を当てて治療を行います。リニアック装置を使い、X線と電子線の2種類の放射線を利用して治療を行います。頭部から足先まで、全身ほとんどの治療を行うことができます。

○品質保証・品質管理

当院では、質の高い放射線治療を行なっており、医学物理士や放射線治療品質管理士など専門資格を持つ放射線技師が様々な測定器を用いて、リニアック・CT装置・治療計画装置といった放射線治療に関連した機器の精度管理を行っています。



放射線治療装置 リニアック

看護専門外来の話～外来化学療法センター～

がん治療の1つである化学療法は、治療薬剤も増え副作用対策は年々進歩しています。そのため患者さんが仕事など日々のライフスタイルを続けながら外来で治療を継続することができるようになりました。

本院では腫瘍内科、呼吸器内科、消化器内科、外科、血液内科、乳腺外科などの診療科の患者さんが主に外来化学療法センターで治療を受けられています。またがん以外の関節リウマチ、クローゼン病、潰瘍性大腸炎の患者さんを対象とした生物学的製剤の点滴治療も行っております。

外来化学療法センターは、ベッドが10床、リクライニングチェア6床の計16床を有しています。患者さんがリラックスして治療を受けられるように全床にテレビを備えており、自由に鑑賞して頂いております。

またがん化学療法看護認定看護師が在籍し、治療による副作用や自宅療養上の悩み、気がかりなどをお聞きし、医師やがん化学療法認定薬剤師と連携をしながら患者さんの治療に関する問題点と一緒に考え、必要な支援への介入を行い患者さんが安心して治療を継続できるように日々活動しています。



開催報告

第10回 泉州緩和ケア研修会

平成30年3月3日、4日に標記研修会を当院で開催しました。今年で10年目の開催となりました。この研修会は国が定める「がん対策推進基本計画」に基づき、「がんと診断された時の緩和ケア」を推進することなど、患者さんやその家族に対してのケアも充実することを目的としています。また当院の医療従事者だけでなく、泉州地域の医療従事者を研修対象者としており、この研修会を修了した医師には厚労省が、医師以外の従事者には府知事が修了したことを認め、それぞれ修了証書が交付されます。この10年間で当院の研修会修了者延べ人数は計316名、うち医師が211名、医師以外の医療従事者（看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、管理栄養士、ケアマネージャー）が105名、また修了者の約半数の216名は、地域の医療従事者の方々が修了されています。

今回の研修会では、医師13名、医療従事者12名の方々が研修を受講し修了されました。

当院は、がん診療連携拠点病院として本研修会を毎年開催し、泉州地域の緩和ケア医療の質向上に努めています。



がん相談支援センター

市立岸和田市民病院は「がん診療連携拠点病院」です。がんの診療はもちろんですが、患者さん・家族さんの毎日の生活がよりよいものになるよう、相談支援にも積極的に取り組んでいます。

がん相談支援センターは、入院受付・総合相談のカウンターの右手にあります。月～金曜の9:00～17:00、看護師・社会福祉士であるがん相談員が、がんにまつわる様々なご相談に対応しています。電話やEメールでもご相談頂けます。

がんに関することならなんでもご相談頂けます。例えば、聞いた説明がわからないとき、病気や症状についてもっと知りたいとき、気持ちが不安になったり辛いとき、そして、仕事や家事、医療費などの生活上のご心配のあるとき、介護や福祉のサービスなどの手続きなどこれらの療養のことなど……。どこに相談すればよいかわからない時にご利用下さい。

ご相談に際し、「内容が主治医等に知れてしまうのでは」とのご心配をされる方もいらっしゃいますが、がん相談支援センターでは、ご本人の了解なく、主治医を含め他の人に相談内容を伝えることはありませんので、ご安心ください。もちろん匿名でのご相談、当院にかられていない方のご相談もお受けしています。

がんに関する資料や、がん情報検索用のパソコンもありますので、必要な情報をお探しいただけます。

又、がん患者さん・ご家族の交流の場として、がん患者サロンLuana(ルアナ～ハワイ語でやすらぐ、くつろぐ)を、奇数月の第四金曜日の13:00～14:30に二階の研修室でオープンしています。ちょっとゆっくりしたい、他の方とお話ししてみたいなど過ごし方は自由です。ぜひお立ち寄りください。

がんになることで、心や生活の変化がたくさん現れます。そんな時、一人で抱え込まず、ぜひ、がん相談支援センターへお越しください。お話を伺いし、よりよく過ごしていくよう一緒に考えます。



市立岸和田市民病院 がん相談支援センター(1階)
相談時間 平日 9:00～17:00
メール info@kishiwada-hospital.com

☎ 072-445-1000(代表)

(※「がん相談」とお伝え下さい)

ミニレシピ

魚の野菜あんかけ



今回は病院食のレシピ第3弾として魚の野菜あんかけを紹介します。

いつもの焼き魚に野菜やきのこを使って簡単アレンジ! みつばやきのこの香りで魚の臭みも消え、魚嫌いの方にも食べやすい一品です。

焼き魚だけでなく、白身魚でから揚げしても美味しいですよ。

ぜひ、お試しください。

栄養量	
エネルギー	138kcal
たんぱく質	13.5 g
脂質	6.3 g
食物繊維	1.0 g
塩分	0.7 g

〈材料〉 (1人分)

金目鯛	70g
玉ねぎ	20g
パプリカ(赤)	10g
生椎茸	10g
みつば	5g

しょうゆ … 4g

みりん … 3g

出汁 … 25cc

片栗粉 … 1g

③ 焼きあがっている魚にあんをかけて完成です。

〈作り方〉

① 魚を焦げ目がつく程度焼く。

② あんの作り方

玉ねぎ・パプリカ・生椎茸をスライスする。

みつばは、1～2cm位に切る。

出汁に玉ねぎを入れて柔らかくなるまで炊く。

柔らかくなったら、しょうゆ・みりんを入れる。

ひと煮立ちしたらパプリカ・生椎茸を入れる。

再度ひと煮立ちしたら一度火を止める。

そこに、水溶き片栗粉を回し入れる。

再度火をつけて透明感がでるまで、混ぜながら温める。

最後にみつばをいれる。

④ 焼きあがっている魚にあんをかけて完成です。

500人目の 赤ちゃん誕生

2014年5月12日産科診療を再開し、同年6月に一人目のお産を迎える、それから4年後の2018年7月吉日、500人目のかわいい赤ちゃんが誕生しました。本院で



は妊婦さん、赤ちゃんの健康と安全を第一に考え、24時間365日産婦人科医師が常駐し、また小児科医師の協力のもと安心してお産に臨んでいただけるよう環境を整えております。

これからもママと赤ちゃんの健やかな幸せのお手伝いが出来るよう職員一同頑張ってまいります♪

診療報酬改定により初診時等の選定療養費を改定

市民病院で、紹介状を持たずに受診する場合、初診料とは別に料金（選定療養費）がかかります。これは、大病院と診療所などの地域医療機関との機能分化を推進するためです。今年度の診療報酬改定において、国が定める金額以上の徴収が義務付けられたため、10月1日から下表のとおり料金を改定します。

また、病状が安定し、市民病院から地域の診療所などを紹介する旨の申し出があったにもかかわらず、引き続き受診した場合も再診料とは別に料金（選定療養費）がかかります。

緊急、その他やむを得ない事情により受診した場合は、選定療養費はかかりません。

問合せ 医療マネジメント課（電話：072-445-1000）

選定療養費

	現行(税込)	改定後(税込)
初診時	2,160円	5,400円
初診時(歯科)	2,160円	3,240円
再診時	—	2,700円
再診時(歯科)	—	1,620円



市内・市外約30名の高校生が職場体験に参加してくれました。今回参加してくれた学生さんたちと近い将来一緒に働く日がくることを楽しみにしています。



前号で紹介しました「世界糖尿病デーのイベント」ですが、平成30年11月14日（水）に開催する予定です。昨年は血糖測定、HbA1c（ヘモグロビンエーファンシー）、歯周病チェック、血圧測定、身長・体重など、糖尿病に必要な測定コーナーを設置しました。今年も測定コーナーを設ける予定でございます。ご自分の検査データを知る機会となるので多くの方の参加をお待ちしています。広報誌うららは過去発行分も含め、市民病院ホームページからもダウンロードしていただけます。送付を希望される方は下記電話番号までお電話ください。



市立岸和田市民病院